

# eduroamJP 認証連携 ID サービス

## 「新規証明書[EAP-TLS]アカウント発行」マニュアル

1. 「ログイン / Login」 をクリックします



### eduroamJP認証連携IDサービス / Federated ID Service (新 仮名アカウント発行システム)

#### お知らせ

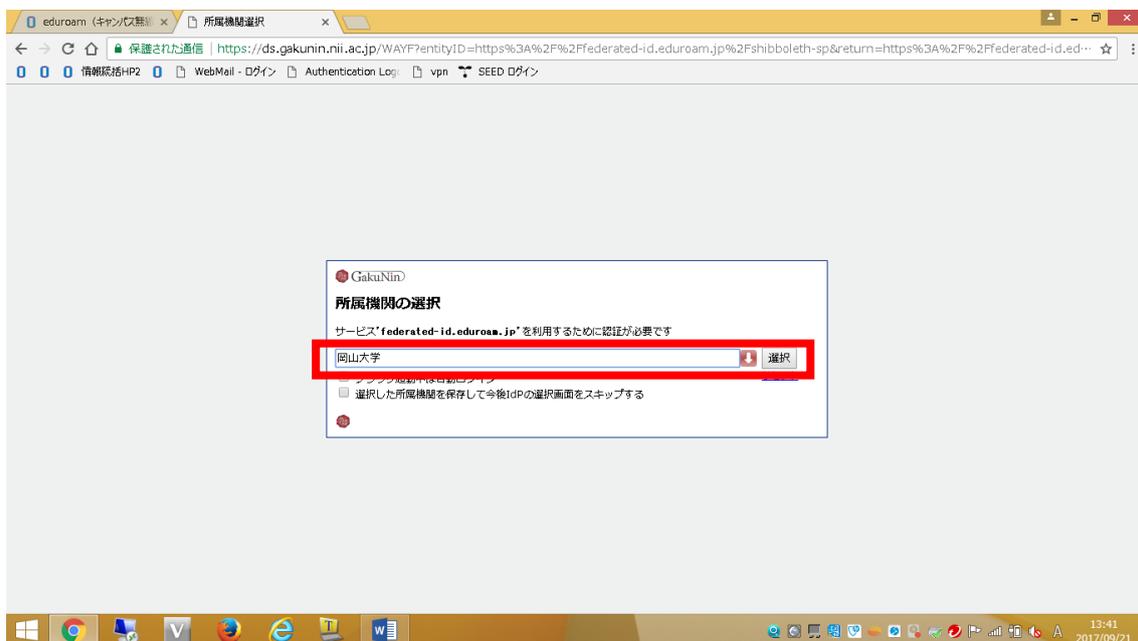
本システムは「(旧)仮名アカウント発行システム」の後継です。利用開始には別途、機関からの申請が必要となります。

本システムは月に一度のメンテナンスで1時間程度停止します(原則、第4火曜日)。メンテナンス作業中は、アカウントの新規発行はできませんが、発行済みのアカウントは支障なくご利用頂けます。

- [ログイン / Login](#) (GakuNin)
- [サービス概要](#) (最初にお読みください)
- [検証すべき認証サーバ証明書について](#)
- [認証局リポソトリ](#)

管理者連絡先: eduroam-office\*nii.ac.jp  
(\*にはアットマークが入ります)

2. 「所属機関」から「岡山大学」を選択し、「選択」をクリックします。



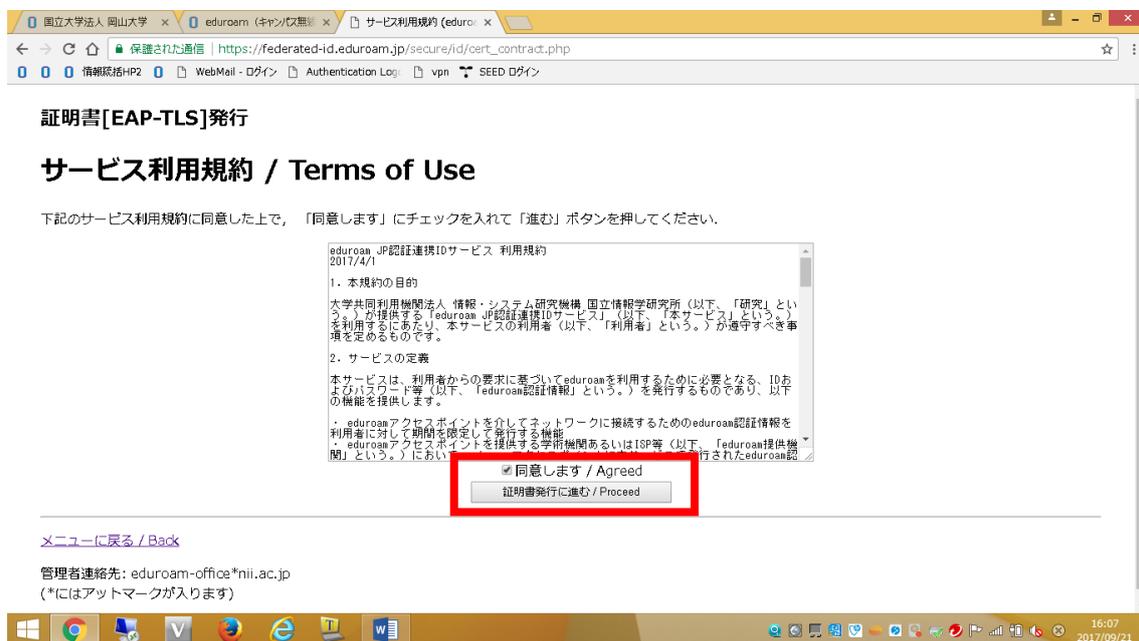
3. 岡山大学統合認証システムの認証ページが表示されますので、「岡大 ID」と「パスワード」を入力し、「Login」をクリックします。



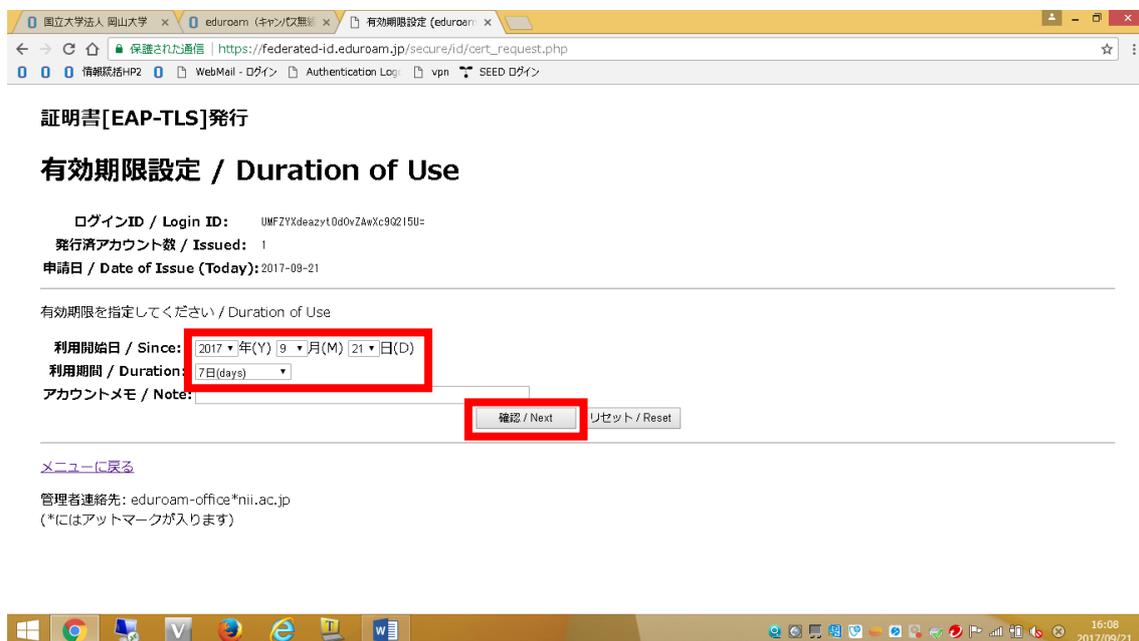
4. 「eduroam JP 認証連携 ID サービスメニュー」が表示されますので、「新規証明書 [EAP-TLS] アカウント発行」をクリックします。



5. 「サービス利用規約」が表示されますので、利用規約に同意できる場合には、「同意します」にチェックを入れて、「証明書発行に進む」をクリックします。



6. 「利用開始日」と「利用期間」を選択し、「確認」をクリックします。アカウントメモは必要に応じて入力してください。



7.申請内容確認画面で有効期限を確認し、「申請」をクリックします。

証明書[EAP-TLS]発行

## 申請内容確認 / Preview

ログインID / Login ID: UMFZYXdeazyt0d0vZAwXc9Q215U=  
発行済アカウント数 / Issued: 1  
本申請と利用期間が重複するアカウント数 / Overlaps: 1  
申請日 / Day of Issue (Today): 2017-09-21

有効期限を確認してください / Duration of Use

利用開始日時 / Since: 2017-09-21 00:00:00+09:00  
利用終了日時 / Until: 2017-09-27 23:59:59+09:00  
利用可能期間 / Period: 7日 (days)  
アカウントメモ / Note:

[申請 / Submit](#) [戻る / Back](#)

[メニューに戻る / Back to Menu](#)

管理者連絡先: eduroam-office\*nii.ac.jp  
(\*にはアットマークが入ります)

8.アカウント発行画面で、「証明書インストールパスワード」が表示されます。メモを取った後に「メニューに戻る」をクリックしてください。

証明書[EAP-TLS]発行

## アカウント発行 / New Certificate [EAP-TLS] Account

ログインID / Login ID: UMFZYXdeazyt0d0vZAwXc9Q215U=  
申請日 / Day of Issue (Today): 2017-09-21

申請内容 / Duration of Use

利用開始日時 / Since: 2017-09-21 00:00:00+09:00  
利用終了日時 / Until: 2017-09-27 23:59:59+09:00  
利用可能期間 / Period: 7日 (days)  
アカウントメモ / Note:

eduroamアカウント情報 / Account Information

証明書ダウンロード / Download: [\[Link\]](#)

証明書インストールパスワード / Installation Password: [Masked]

eduroamアカウント / Account: C:\H9L0207@okavana-u.f.eduroam.jp ( UC-C,One,UC-H,Nine,UC-L,Zero,Two,Zero,Seven )

利用には証明書をダウンロードして端末にインストールしてください。  
証明書インストール時にパスワードが必要となります。

[メニューに戻る / Back to Menu](#)

9. 「発行済み証明書アカウント[EAP-TLS]の確認および失効」をクリックします。」

eduroam (キャンセル) x x ヌニュー (eduroamJP認証) x x  
保護された通信 | https://federated-id.eduroam.jp/secure/id/menu.php  
情報連絡HP2 WebMail - ログイン Authentication Log vpn SEED ログイン

## eduroamJP認証連携IDサービス メニュー / Menu

ログインID: UMFZYXdeazyt0d0vZAwxc9QZ15U=

- [新規ID/Passwordアカウント発行 / New ID/Password Account](#)
- [発行済みID/Passwordアカウントの確認および失効 / Issued and revoke ID/Password Account](#)  
(発行済みアカウント数/Issued 1 : 有効アカウント数/Valid 0)
- **[発行済み証明書アカウント\[EAP-TLS\]の確認および失効 / Issued and revoke Certificate \[EAP-TLS\] Account](#)**  
(発行済みアカウント数/Issued 1 : 有効アカウント数/Valid 0)
- [サービス利用ガイド / User's Guide](#)
- [検証すべき認証サーバ証明書について / Server Certificate of the Authentication Server](#)
- [\[EAP-TLS\]アカウント認証局リポソトリを確認する / CA Certificate for \[EAP-TLS\] Account](#)

### ビジター用アカウント発行

- [ビジター用アカウント発行機能 / Visitor account management](#)

管理者連絡先: eduroam-office\*nii.ac.jp  
(\*にはアットマークが入ります)

13:44  
2017/09/21

10. 「Download」をクリックすると、「証明書のインポートウィザード」の画面が表示されます。

国立大学法人 岡山大学 x eduroam (キャンセル) x x 発行済みアカウント一覧 (e x)  
保護された通信 | https://federated-id.eduroam.jp/secure/id/cert\_account\_show.php  
情報連絡HP2 WebMail - ログイン A

## 証明書[EAP-TLS]発行

### 発行済みアカウント一覧

失効 / Revoke	証明書 / Certificate	アカウントメモ / Account Note
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Download</a>	(C)UJUC-Fire (N)UC-U,Fire
<input checked="" type="checkbox"/>	---	---

利用には証明書をダウンロードして端末にインストール時にパスワードが必要となる  
証明書インストール時にパスワードが必要となる  
アカウントを失効させる場合は、チェックを

[メニューに戻る / Back to Menu](#)

管理者連絡先: eduroam-office\*nii.ac.jp  
(\*にはアットマークが入ります)

### 証明書のインポートウィザード

証明書のインポートウィザードの開始

このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リストをディスクから証明書ストアにコピーします。

証明機によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データを保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワーク接続を提供するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

保存場所

現在のユーザー (C)

ローカル コンピューター (L)

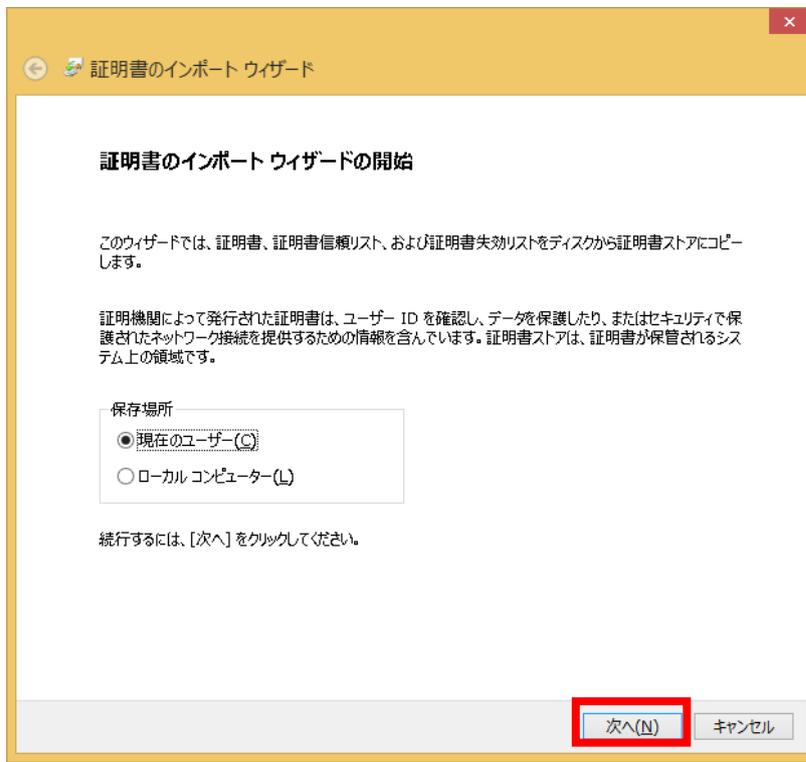
続行するには、[次へ] をクリックしてください。

次へ(N) キャンセル

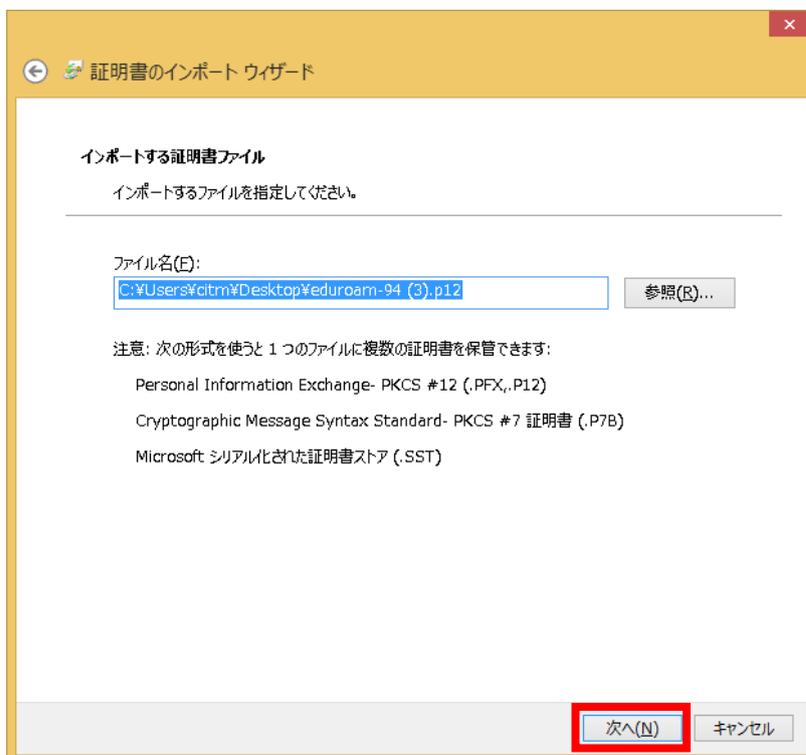
Name	アカウントメモ / Note	メモ修正 / Edit Note
.JP		Modify
.JP		修正

16:15  
2017/09/21

11. 「次へ」をクリックしてください。



12. 「次へ」をクリックしてください。



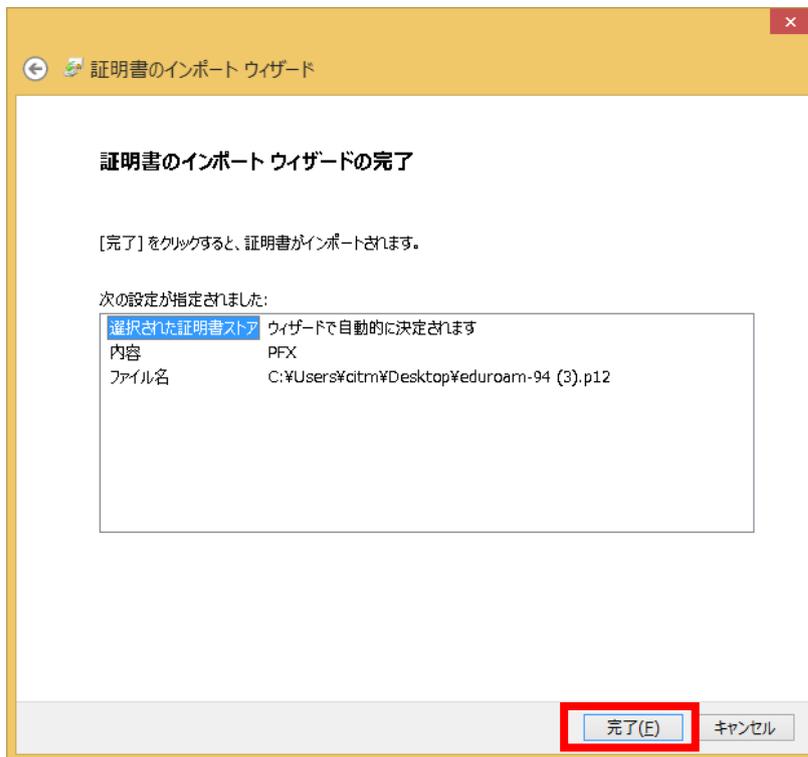
13. 「アカウント発行」画面もしくは「発行済み証明書アカウント[EAP-TLS]の確認および失効」画面でメモをした「証明書インストールパスワード」を入力し、「次へ」をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box with the title '証明書のインポート ウィザード'. The current step is '秘密キーの保護' (Secret Key Protection). The text reads: 'セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。' (To maintain security, the secret key is protected with a password.) Below this, it says '秘密キーのパスワードを入力してください。' (Enter the password for the secret key.) There is a text input field for the password, which is highlighted with a red rectangle. Below the input field is a checkbox labeled 'パスワードの表示(D)' (Show password). Underneath is the 'インポート オプション(O):' (Import options) section, which contains three checkboxes: '秘密キーの保護を強力にする(E)' (Strengthen secret key protection) with the note 'このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。' (If this option is enabled, you will be prompted to confirm the secret key every time the application uses it.); 'このキーをエクスポート可能にする(M)' (Export this key) with the note 'キーのバックアップやトランスポートを可能にします。' (Enables backup and transport of the key.); and 'すべての拡張プロパティを含める(A)' (Include all extended properties), which is checked. At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (Next) and 'キャンセル' (Cancel), with the '次へ(N)' button highlighted by a red rectangle.

14. 「次へ」をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box with the title '証明書のインポート ウィザード'. The current step is '証明書ストア' (Certificate Store). The text reads: '証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。' (The certificate store is a system area where certificates are stored.) Below this, it says 'Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。' (You can either let Windows automatically select a certificate store or specify the location of the certificate.) There are two radio button options: '証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)' (Automatically select a certificate store based on the certificate type) and '証明書をすべて次のストアに配置する(P)' (Place all certificates in the following store). The first option is selected. Below the radio buttons is a text input field for the certificate store name, followed by a button labeled '参照(R)...' (Browse...). At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (Next) and 'キャンセル' (Cancel), with the '次へ(N)' button highlighted by a red rectangle.

15. 「完了」をクリックしてください。



16. インポート完了後、タスクバーの無線 LAN 接続アイコンから、eduroam を選択し、「証明書を使って接続する」をクリックして接続してください。